

平成 29 年 7 月 18 日

保護者の皆様

大阪市立塩草立葉小学校

校長 竹内 幸延

P T A 会長 潮 秀樹

新校舎増築計画意見集約会報告と次回説明会のご案内

さる7月12日に新校舎増築計画にかかる意見集約会を行い、現在行政から示されている運動場南側に新校舎を増築する計画案（資料①参照）について、話し合いました。その結果、南側への新校舎増築案を軸にしながら、現校舎の改築も視野に入れて検討してはどうかという方向で終わりました。皆様方からは、これまでに貴重なご意見、ご提案をたくさんいただき、本当にありがとうございます。

既にご案内の通り、本校は、児童数の増加にともない、図工室と音楽室を普通教室に改造しているため、特別教室が不足しており、普通教室もこれ以上増設しにくい状況です。今年5月1日現在の児童数は299名。行政の試算では、平成34年度には児童数が473名程度に増えると予想され、教室不足は深刻な課題です。しかも、新校舎の設計、工事、使用開始までには、約3年間かかるといわれており、早急な意見集約が必要です。

今後、次の通り行政側を交えた説明会を予定していますので、ぜひご参加くださり、子どもたちの教育環境の整備にご理解ご協力をいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

なお、今までに議論された点についても概要を記載していますので、ご覧ください。（裏面：資料②参照）

【新校舎増築計画にかかる説明会】

日時：平成29年9月2日（土） 9：30～10：30

場所：本校 図書室（3階）

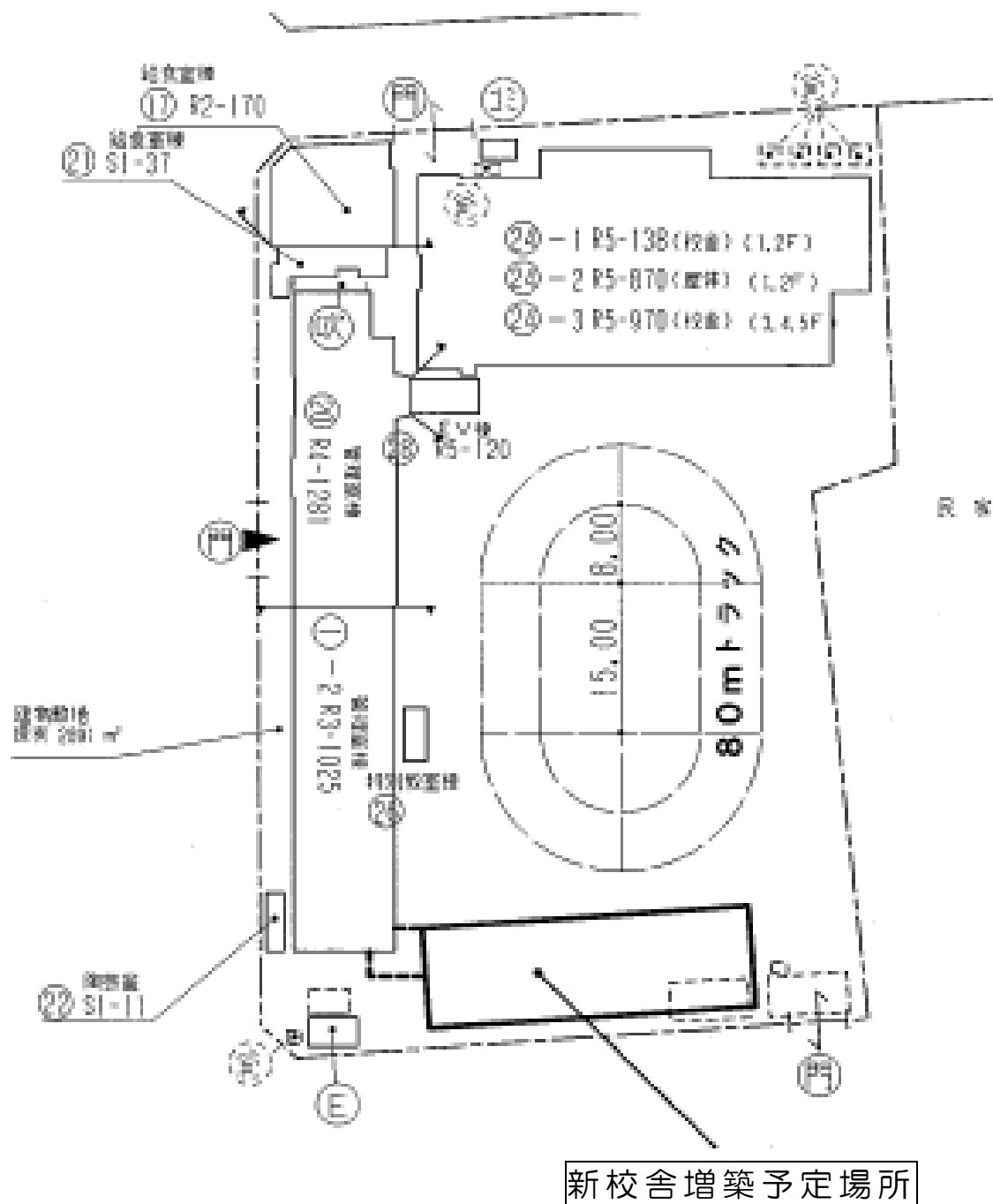
※大阪市教育委員会、浪速区役所より担当者が参加予定

※この日は土曜授業で、3時限目は親子清掃です。

【資料①】新校舎増築計画

(難波中学校側)

な
に
わ
筋
側



- 各階3教室×4階建。1階部分は、当初ピロティ。
- 現校舎とは、接続あり。
- エレベーター新設。各階トイレ付き。
- 現在の門は撤去し、南東側に移設。
- 現在の体育倉庫も、移設。

【資料②】新校舎増築にかかわって、これまでの質疑の概要（その１）

Q：なぜ新校舎の増築が必要なのでしょう。

A：児童数増加に対して、教室の数が現時点で既に不足しています。今後さらに児童数の増加が予想されるため、新校舎の増築が必要です。

Q：塩草小学校と立葉小学校を元通りに分けてはどうでしょうか。

A：分けた後の立葉小学校は、児童数が１２０名を下回る過小校として、統合の適正配置対象校になります。

Q：敷地面積の広い立葉小学校を使用してはどうでしょうか。

A：児童数のより多い方へ移転するのが原則です。塩草地域の児童数は、立葉地域の約２．５倍です。これまでの統合に関する協議経過もあり、立葉小へ全児童が移転するのは困難です。

Q：立葉小学校を分校にしてはどうでしょうか。

A：教育活動や学校行事は全校一斉に行うことが望ましく、本校と分校で分断すると、連絡調整をはじめ、教育活動全般でさまざまな弊害が起こります。全校一斉のたて割り活動なども、実施困難になります。

Q：難波中学校の敷地に新校舎を建て、本校と歩道橋などでつなげては。

A：分校的な扱いになると、やはり弊害が予想されます。また、浪速区で新たな小中一貫校建設の動きは、聞いていません。

Q：もと難波特別支援学校塩草校舎を特別教室に活用しては。

A：音楽や図画工作、家庭科の授業ごとに校舎間を移動すると、そのつど休み時間がなくなり、移動の際の安全確保も心配です。

Q：運動場が狭くなると、運動会は実施できますか。

A：基本的には、実施形態や保護者席の設営などを工夫しながら、本校で実施したいと思います。もしやむをえず他の施設を借りる場合には、浪速区役所が全面的に協力していただきます。

Q：学校に隣接する「憩いの家」の敷地を利用してはどうでしょうか。

A：増築できる教室数が少なく、運動場に校舎がはみ出ます。また、私有地との境界が不明確で、工事にあって、民家などとの協議に多大な時間を要することが予想されます。教室と民家の距離が近くなりすぎて、教育活動に制限を余儀なくされることも心配です。

Q：新校舎の１階部分はピロティになるのでしょうか。

A：当初から教室にする意見も出ています。

【資料②】新校舎増築にかかわって、これまでの質疑の概要（その２）

Q：現在ある校舎の屋上に新教室を建て増ししてはどうでしょうか。

A：耐震性の問題から、屋上への建て増しは困難です。

Q：校区の分け方を見直してはどうでしょうか。

A：地域住民の同意を得るのに、莫大な時間がかかると予想されます。

Q：現在の校舎を建て替えてはどうでしょうか。

A：建て替えを要するまでの耐用年数がまだ１５年以上あります。

Q：浪速公園を買い取り、塩草立葉小学校を新設してはどうでしょうか。

A：管轄する大阪城公園事務所や浪速区民全体の同意を得るのに、困難が予想されます。

Q：工事期間中、運動場がより狭くなることが心配です。

A：子どもたちがストレスを感じないように、教育活動を工夫します。

Q：給食室の上に教室を増設してはどうでしょうか。

A：建築敷地が狭く、校舎を建てることは不可能です。

【新校舎増築にあたり、ご意見、ご提案がありましたら、ご記入のうえ、
小学校までご提出ください】